

全国社会福祉協議会「国際交流・支援活動」のご紹介

全国社会福祉協議会・国際部

全国社会福祉協議会では、アジアの社会福祉従事者を日本に招聘し、日本語で行う研修事業を毎年実施しています。全国の社会福祉法人の皆さまには、これまで多くの研修生を受け入れていただきました。研修生たちは、日本の社会福祉の実践にふれたり、職員の方とのディスカッションを通じ、多くのことを経験し、学びを深めてまいりました。

さらに、研修を終えた修了生が母国で取り組む福祉活動に国際社会福祉基金より助成を行ったり、大規模災害時には修了生が現地の連絡調整の窓口を担い、被災地の支援や復興支援に協力してあたるなど、修了生とのネットワークを活かして国際交流・支援活動を推進しています。

活動へのご理解の一助となるよう、ご参考までにインドネシアのマーチャさんの日本での研修と、帰国後のプロジェクトについてご紹介いたします。



マーチャ アディワラ プラウィタさん(インドネシア)

日本での研修 2016年3月～2017年2月(第33期)

プロジェクト 2019年度 助成対象

<日本の研修での学び>

マーチャ (Marcha Adiwara Prawita / Ms.) さんはアジア社会福祉従事者研修の第33期生です。インドネシアでは、ミン アール ウノ財団 (Mien R. Uno Foundation) に所属し、若者の起業支援を通じ、若い世代の自立を促進するプログラムを担当していました。

さいきんインドネシアのじんこうはおおくなりましたが、しごとはずくなく、しつぎょうしゃがふえてきました。だからしゃかいふくしのために起業をしえんすることがひつようです。

(修了レポートより抜粋。原文のまま、以下同様)

マーチャさんは、平成28年3月に来日し、約4か月の日本語学習と施設見学を経て、長期施設研修を2回(1回目は2か月、2回目は4か月)を経験しました。2回目は、滋賀県社会就労事業振興センターで研修しました。

しがけんのくさつにあるしんこうセンターは、だれもかいはたらくことで けいざいてきにじりつし、しあわせをかんじることができるしゃかいをめざします。(略) しょうがいのあるひとの「こようをつくる、こようにつなげる」ことをとおして、ちいきをげんきにします。そして ちいきを かつせいします。

マーチャさんは修了レポートで、研修で学んだことを帰国後の仕事につなげるビジョンを記しています。

インドネシアにかえたら、しょうがいしゃのために起業きょういくのプロジェクトをつくりたいとおもっています。インドネシアはしょうがいのあるひとのしごとは とてもすくないです。ですから、しょうがいのあるひとは じぶんで起業をするのがいいとおもいます。{ しょうがいのあるひとがじぶんで起業をする → おかねをもらう → せいかつができるようになる → しょうらいほかのしょうがいのあるひとや ふつうのひとのためのしごとをつくることにもなる → しゃかいがげんきになる } とおもいます。

<帰国後にプロジェクトを実現>

インドネシアに帰国して2年後、マーチャさんから、国際社会福祉基金が助成する「修了生福祉活動助成事業」の申請書が届きました。「インクルーシブな起業講座 (Inclusive Business Class)」と題されたプロジェクトは、西ジャワ州のバンドンで起業を希望する障害者を対象にビジネス講座を開き、起業のモチベーションやスキルを高めることで、障害者の経済的自立を支援する、というものです。

SNSで発信したり障害者団体を訪問してプロジェクトを紹介し、59名に上る申請から20名の参加者を選出しました。起業するための心構え、マーケティングや生産工程の研修、事業計画づくりなど研修内容は広範にわたり、起業トレーナーやマーケティングの専門家を講師に迎えました。プロジェクトの後半期には、ろうけつ染め布地を生産する企業を訪問したり、参加者自身の製品を地域の展示会で販売するなど、実践的なプログラムも行いました。

プロジェクトの成果は、12名が最後まで講座に参加、うち6名が実際に新事業をスタート、というものでした。このプロジェクトへの全社協の助成金は約38万円です。講師謝金や資料印刷、会議室賃料等に充てられました。マーチャさんは、プロジェクト終了後に新たな財団を設立し、さらなる事業の拡大をめざしています。



起業についての講義



参加者同士で事業の課題について話し合う

新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は日本での研修が中止となりました。アジア諸国でも感染が拡大し、研修修了生の母国での福祉活動にも支障が生じています。

全社協では、国際交流・支援活動をご支援いただく「国際交流・支援活動会員」を募集しております。会員登録いただいた方からの会費は、全社協が管理・運営する国際社会福祉基金への拠金として受入させていただき、アジアワーカーの研修や母国の福祉活動への助成など、活動全般に活用させていただいております。ぜひご案内パンフレットをご覧ください、会員登録についてご検討ください。法人・組織会員、賛助会員のほか、個人会員のご登録もお受けしております。

多くの皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

国際交流・支援活動会員のご案内（全社協ホームページリンク）

<https://www.shakyo.or.jp/bunya/kokusai/member.html>